

HiBiRD 取扱説明書

HIBIRD はミニコプターで、2.4G Spectrum DSM2 /JR DMSS (XG7, XG8, XG11,XG6)送信機と APP /Android システムの4種類のコントロールシステムがあります。

コプタースペック

タイプ: 4 軸ミニコプター

制御方法: 2.4G Spectrum DSM2/JR DMSS/Android/Iphone

DMSS モード: JR XG7, XG8, XG11, XG6 などの JR DMSS 送信機適用

DSM2 モード: DX6I,DX7,DX8,DSX7,DSX9 DSX11,DSX12 などの Spectrum DSM2 送信機適用

飛行距離: 100 メートル;

本体サイズ(横 x 縦 x 厚み): 100 x 100 x 45mm

ローター距離: 120mm

正味重量: 22g

バッテリー重量: 10g 3.7V/350MA

総重量: 32g

入力電圧: 3.7V/350MA リチウムバッテリー

飛行時間: 8~10 分間程度



写真 01 ミニ本体



写真 02 DSM2/DMSS 基盤重量

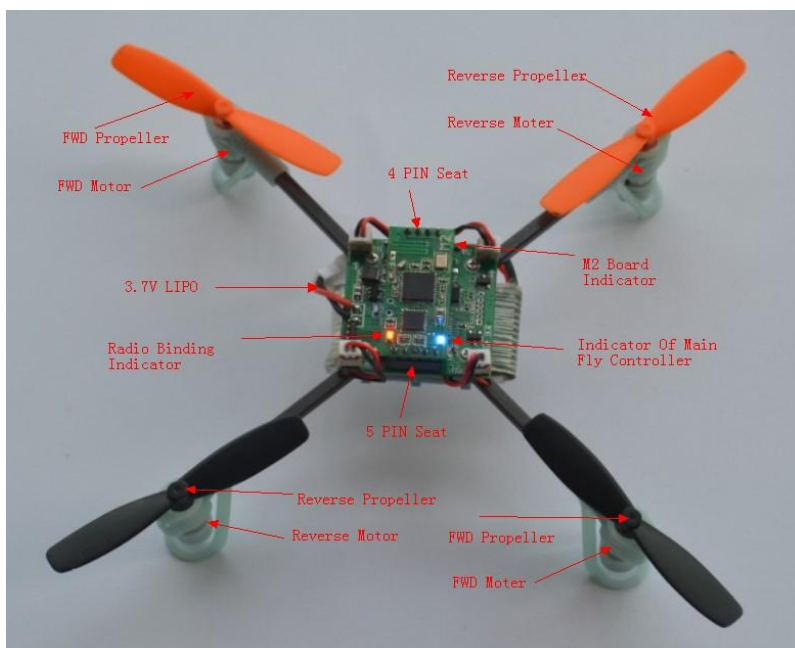


写真 03

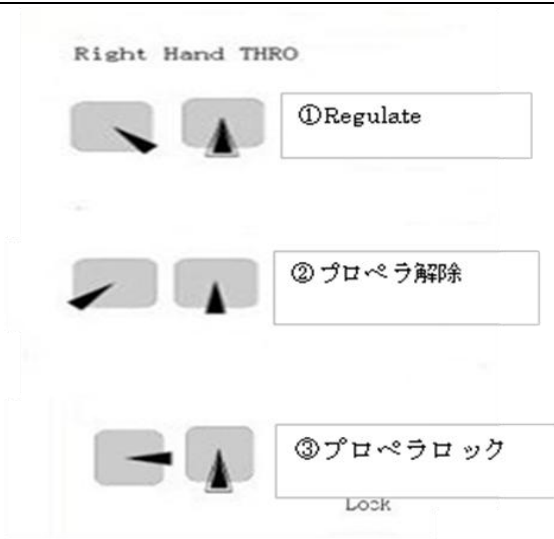


写真 04



写真 05



写真 06



写真 07

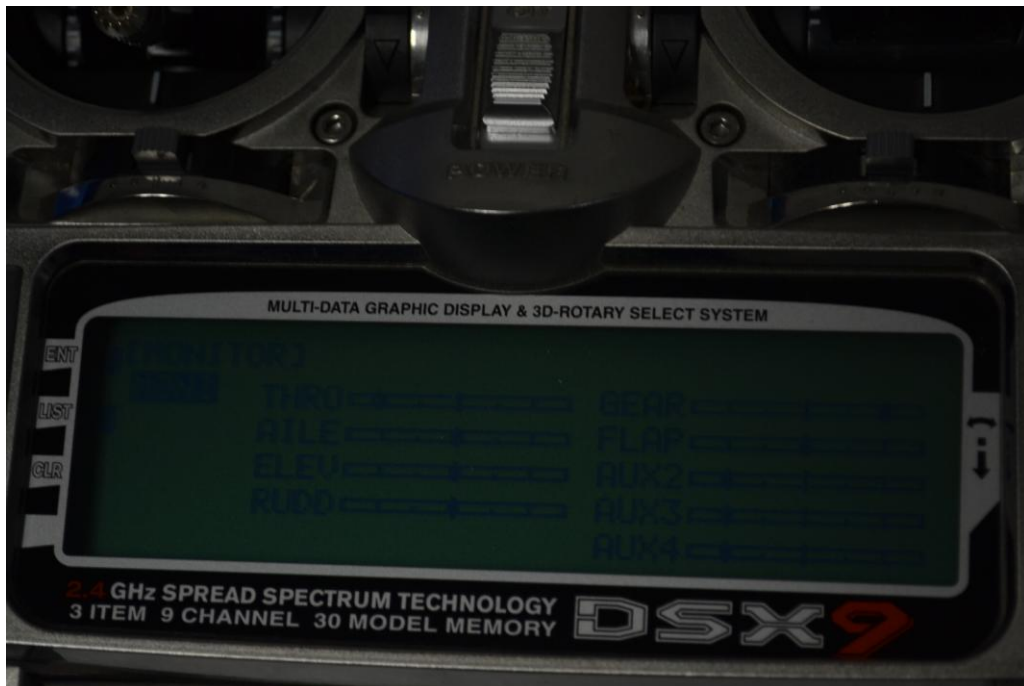


写真 08

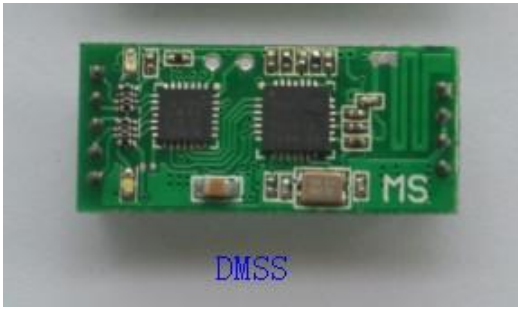


写真 09



写真 10

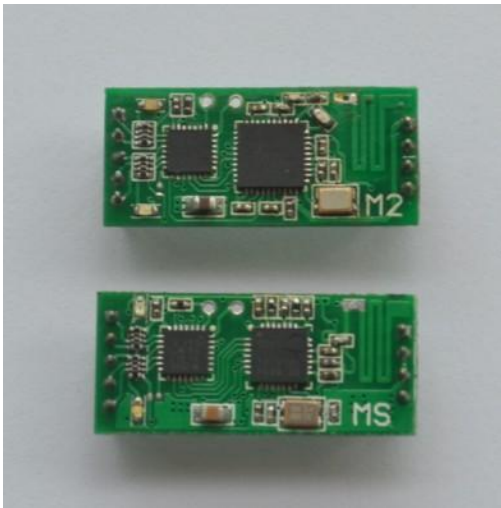


写真 11

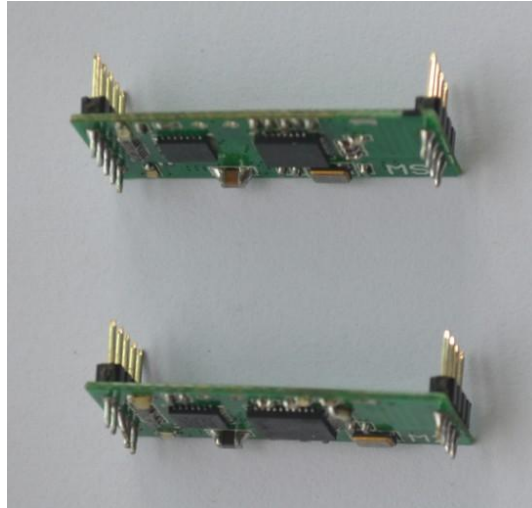


写真 12

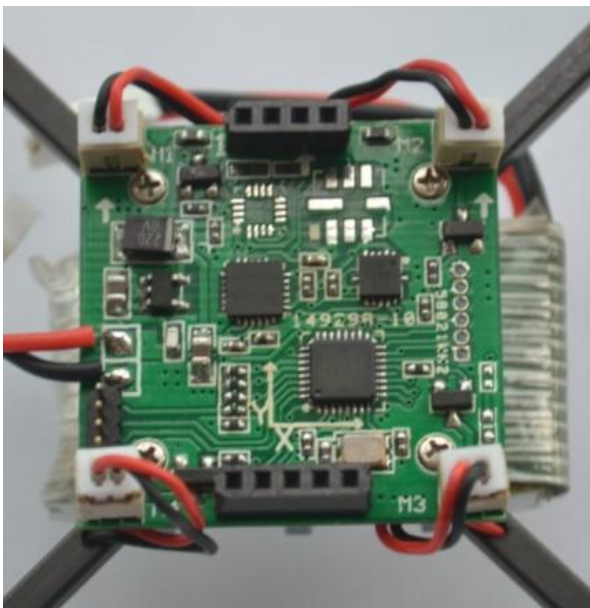


写真 13

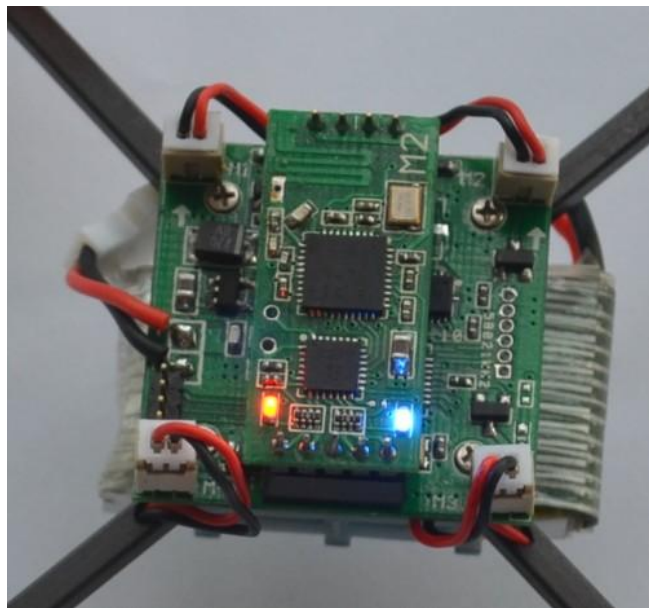


写真 14

写真 09 は DMSS コントロール基盤、JR XG7,XG8,XG11,XG6 使用

写真 10 は DSM2 コントロール基盤、DX6I,DX7,DX8,DSX7,DSX9 DSX11,DSX12 使用

写真 11 & 写真 12 は MS と M2 の比較写真です。

M2 と MS モードの交換方法

写真 13 は DFLY 基盤上に SP4 と SP5 の穴が有り、モジュールを差し込みます。(写真 14 ご参考)。

M2 モジュールを取り付けると、DSM2 モードの送信機で操作します；

MS モジュールを取り付けると、DMSS モードの送信機で操作します；

送信機設定

1. MODE 1: 固定翼機モード、写真 05；
2. 舵量行程値: イコール又は 100%以上 (100-120 の間)、写真 06；
有効のチャンネル: THRO/AILE/ELEV/RUDD/FLAP (AUX1)；
3. チャンネル機能正逆設定、写真 07. 写真 08
4. 送信機と受信機バインド、バインド方法をご参考下さい。
5. 送信機写真 04、ロック解除と施錠機能、ブルーLED ランプが通常点灯となったら (ロック表示) 飛行します。青色消灯は (UNLOCK 表示) モーター作動しない状態。

M2 バインド方法

1. コプターを通电すると、M2 モジュールのオレンジ LED ランプがフラッシュします；
2. 送信機裏面のバインドキーを押し、送信機の電源を開けて、バインドに入ります；
3. LED ランプ オレンジが点灯すると、バインド完了です；
4. バインドが完成していない場合は以上の 1, 2, 3 手順を繰り返し操作してください；
5. 再度使う際は送信機の電源を入れてから、コプターを通电します。オレンジ LED ランプが通常点灯であれば、正常に操作できます；

MS バインド方法

1. コプターを通电すると、MS モジュールのオレンジ LED ランプがフラッシュします；
2. 発射電源を開けて、システムメニューの“BIND”(送信機の取説書をご参照下さい)に入ります；
3. “BIN”ボタンを押して、バインドがはじめます。MS モジュールの指示ランプが通常点灯となったら、バインド完了と表示します。完成していない場合はの 1, 2, 3 手順を繰り返し操作してください；
4. バインド完了後、“BIND”メニューからアウトします。これで、正常に操作できます；
5. 再度使う際は送信機の電源を入れてから、コプターを通电します。オレンジ LED ランプが通常点灯であれば、正常に操作できます；

LED ランプ指示説明

- 1、オレンジ LED ランプフラッシュ: バインド状態；
- 2、オレンジ LED ランプ通常点灯: 正常状態；
- 3、オレンジ LED ランプ点滅: 電きり、信号無し；
- 4、ブルーLED ランプ通常点灯: 正常コントロール状態；
- 5、ブルーLED ランプフラッシュ: 校正必要状態；
- 6、ブルーLED ランプゆっくり点滅: Regulate 待ち状態；
- 7、ブルーLED ランプ消灯: 施錠状態；

6CH 送信機の中の AUX1 機能

AUX1 高、AILE/ELEV/RUDD チャンネルが高鋭敏度、手動バランス修正モード(3D 専用)

AUX1 中、AILE/ELEV/RUDD チャンネルが高鋭敏度、自動バランス修正モード(普通飛行用)

AUX1 低、AILE/ELEV/RUDD チャンネルが低鋭敏度、制御しやすい自動バランス修正モード(初心者適用);

コプター操作手順(バインド終了後)

- 1、送信機の電源を入れて、スロットルが最スローにあることを確認します。
- 2、機体のバッテリーを本体と繋ぎ、平面に置きます。
- 3、写真 04 を参考:左スティックを右下へ倒します。するとブルー点滅が消えます。
- 4、次に左スティックを真左又は左下に倒しますとブルーの LED が点灯します。
- 5、スロットルを静かに上げるとコプターが回転し飛行出来ます。
- 6、ロックするときは左スティックを真右又は右下に倒すとロックします。

備考

- ・ フェイルセール機能は自動に開けます。送信機で設定する必要がありません。送信機或いは受信機の信号が切ったら、コプターが減速に降下します。コプターとフライヤーの安全のため、8 秒後、電源が切れ降下します。
- ・ コプターの四つピスの締め具合がバランスに影響しますので、コプターの安定性に影響します。モーターを交換するとき、必ずご注意ください。
- ・ ジャイロを校正する時は、必ず平に置いてから行います。

単セルリチウムバッテリー充電器

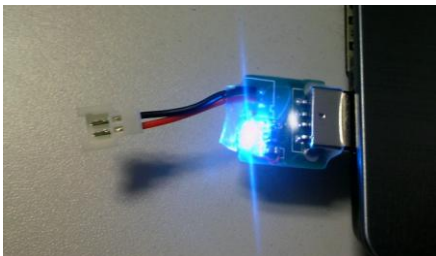


写真 15

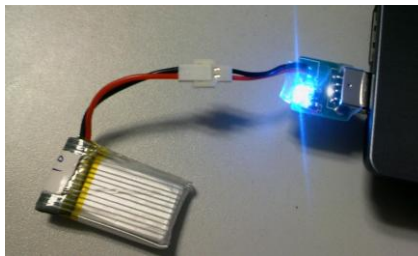


写真 16 充電中



写真 17 充電完了

充電器スペック

USB 入力電圧: 5V---直接に PC、IPHOEN 充電アダプター、5V-OUT アダプターに繋がます;

充電電流: 600MA;

輸出: 3.7V 単セルリチウムバッテリー; 赤陽極、黒陰極;

LED 充電指示ランプ

写真 15: 入力電圧正常指示、LED 点灯;

写真 16: 充電中、LED 点灯;

写真 17: 充電完了、LED 消灯;